

SIA

Sumoto International Association



平成24年3月25日

洲本市国際交流協会企画部会発行

洲本市本町三丁目4番10号

洲本市企画情報部秘書課内

TEL:0799-26-0175 FAX:0799-23-2340

VOL.005



会長あいさつ

洲本市国際交流協会 琴井谷 隆志

本年度は、国内では東日本大震災、世界ではユーロ危機等があり、苦難の一年でありました。

そのような状況において、通年の事業を実行し、またハワイ島訪問団の受入を行えたのは会員の皆様のご協力によるものであり、心より感謝致しています。

次年度も、できる限り交流の輪を広めていくよう進めてまいりますので、変わらぬご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。



ALOHA

～ “SHYNESS IS LAZINESS” このチャンスを活かして～

洲本市国際交流協会では、姉妹都市友好親善と国際感覚を養うため、市内高校生を対象に姉妹都市であるハワイ島へホームステイ派遣事業を行っています。今年も市内在住の高校生10名が、7月21日(木)～7月27日(水)の5泊7日の日程でハワイ島を訪問しました。

6月11日

＊ “SHYNESS IS LAZINESS” ＊



ハワイ島親善訪問説明会が行われ、7日間をともに過ごす生徒たち

が初めての顔合わせをしました。旅行準備や海外での諸注意などを聞いた後、第1回目の研修会も行われました。高校生らは英語での自己紹介をし、番所理事よりホームステイの心得として一番大切な“SHYNESS IS LAZINESS”…シャイで消極的であることはその人の能力の向上を妨げる。何事にも積極的に。のお話を聞き、気を引き締めました。

6月18日

＊Let 's Sing a Song＊

第2回研修会ではフェアウェルパーティーで披露する歌「世界に一つだけの花（英語バージョン）」を練習しました。最初は照れもありモゴモゴとしていましたが、何とか曲に合わせて英語の歌詞で歌うことができました。得意な箇所だけ声が大きくなったのはご愛嬌。本番はうまく歌えるのでしょうか。

最後にみんなで阿波踊りの練習をしました。



7月21日

＊Arrive in Hawaii＊

いよいよ出発です。沢山の人の見送られ、関空～ホノルル～ビッグアイランドへ✈



機内食でロコモ

コを食べた後、初めての体験になかなか眠れない人もいました。

空港に到着すると、東ハワイキワニスクラブメンバーの温かい出迎えが待っていました。初めてのALOHA!!初めてのハグ!にちょっ



とドキドキ…ヒロハイスクールに到着後は、それぞれのホームステイチューデントが日本の生徒たちを迎えてくれ、ハワイ

のみんなは積極的に話しかけてきてくれましたが、日本の生徒たちは、初めての環境になかなか自分から話かけられずにいました。

ウェルカムパーティーではヒロハイスクールの生徒たちがフラダンスを披露、続いて全員でお手本を見ながら踊りました。パーティーが終わると、各ホームステイ先へ。“SHYNESS IS LAZINESS”の精神で、コミュニケーションを図ることができるのでしょうか?



7月22日

＊何もかも Big Size ! ＊

2日目はホストスチューデントとボルケーノツアーへ☀

映画に出てくるようなスクールバスに乗り、ハレマウマウ火口へ。火山や壮大な景色に「淡路とは全然違う!!」と大興奮でした。



お楽しみの昼食はピクニックランチ。自分たちで思い思いの具材をはさんで作ったサンドイッチを芝生の上で食べ、味も一際美味しく感じました。



急なスコールが降り、慌てる場面もありましたが、ゲームを

したり、散歩をしたり、互いの生徒たちみんなの距離が少しずつ縮まってきました。

日本でもおなじみのマウナロアナッツ工場見学、ハワイ島の花「アンスリウム」農園を見学後、夕食はピザハットへ。



予想を超えるピザの大きさに、日本の生徒たちはビックリ!!色々なトッピングのピザをシェアして食べました。あ～お腹いっぱい!

食後は皆でボーリングへ。ここでは、日本の生徒たちも本領発揮!ハイタッチで喜び、励ましあい、スポーツは万国共通だと実感。みんな大盛り上がりで楽しいひとときとなりました。

7月23日

＊BON-DANCE!?! ＊

3日目はヒロの町を散策しました。カラカウアパークを出発し、ツナミミュージアムへ。ファーマーズマーケットでは、ヒロの生徒たちのお勧めの食べ物を購入し、みんなで味見。カメハメハ大王像の前で記念撮影、海辺を歩きながら小石飛ばしを競いガッツポーズ!!

海を臨む、日本庭園スタイルのリリウオカラニ公園へ到着し、記念撮影をしているとまたしても急なスコールにみまわれツアーを断念。車でヒロ高校へ戻り、寒い中プールへ入りました。ジャンプ台に男子生徒達は大はしゃぎですが、見ているSIAメンバーは皆ハラハラ…。



夕食はヒロ高校の生徒やキワニスメンバーらによって準備が進められました。

肉をその場で焼き、パンに挟んで食べるハンバーガーはボリュームたっぷり!!日本にはないパンフルーツという果実が入ったサラダを、皆で楽しくいただきました。

その後、SIAメンバーはBON-DANCE!?! (日本と言う盆踊り)を見学に。曲のテンポも踊りも違うものでしたが、日系のながれを受けたハワイならではの行事に楽しい気分が3日目終了しました。



7月24日

＊感謝を込めて＊

いよいよビッグアイランドで過ごす最後の日となりました。この日は夕方までホストファミリーと過ごし、生徒達は各自で準備した衣装に着替え、さよならパーティーに出席しました。会場はきれいに飾りつけされ、キワニスクラブの方が用意してくれた豪華な食事が並べられていました。

また、生徒たちの顔が描かれたお手製ケーキのプレゼントに一同感激☆☆どれが自分かな？と嬉しそうにケーキを見つめていました。

ホームステイ期間中の映像を見ながら食事を楽しみ、楽しかった沢山の思い出がよみがえりました。そして日本の生徒たちによる英語でのスピーチタイム。



前日、ホストチュードントやガイドに聞き、苦労して作ったお世話になった方々への感謝の言葉。

ホームステイ中で一番ドキドキする時間でしたが、皆の想いはきっと伝わったでしょう。

そして「世界にひとつだけの花」の歌のプレゼント☆英語が少し不安な部分もありましたが、精一杯歌えほっと一安心。

最後はみんなで阿波踊りを踊り、楽しいパーティーとなりました。



7月25日

＊See You Again＊

空港ではお世話になった方々との別れを惜しみ涙する生徒もいました。

ホームステイ前にそれぞれが胸に抱いた「英語が話せるようになりたい」「友達を作るぞ」「自分を変えたい」等などの目標。それ以上の大きなものを手にしたホームステイに



なったと思います。

この経験を生かし、これからの夢に繋げていけることを願っています。

カウボーイサラダ レシピ



ハワイでお世話になったキワニスクラブメンバーのローリー・ニシモトさんから教えていただいた“カウボーイサラダ”のレシピです。

10月の洲本市来訪の際に、皆さんに披露していただく予定でしたが、スケジュールが合わず断念。

会員が多く集まる12月のクリスマスパーティーで事務局員がかわって調理し、披露させていただきました。懐かしいハワイの味！皆さんご堪能いただけましたでしょうか？

材 料

赤ワインビネガー……………大さじ 2
チリソース……………小さじ 2
オリーブオイル…小さじ1と 1/2
きざみにんにく……………お好みで
こしょう……………小さじ 1/2
アボカド……………1 個
豆の缶詰……………1 缶
コーンの缶詰……………1 缶
パクチー……………少々
トマト……………1/2 個
塩……………少々

レシビ

- 1 豆とコーンは水切りしておく。
 - 2 アボカドを刻み、にんにくと軽く混ぜ合わせる。
 - 3 トマトを食べやすい大きさに切る。
 - 4 材料と調味料を合わせ、最後に塩を加え味を整える。
- ★出来上がり★

才花さん、
お味はいかが
でしょうか？



A participant's ★ comment

今年、ハワイ島ホームステイ派遣事業に参加した10名の高校生の感想文を紹介します。

ホームステイ体験

リーダー おおやま りょうすけ 大山 諒祐



7月21日から27日までハワイ島に洲本市国際交流協会と洲本市のご支援によりホームステイに行くことができました。

この一週間は、とても充実していて生涯忘れることのないとてもいい経験になりました。

海外に出るのは初めてだったので、ハワイに着く前から緊張しっぱなしで不安だけでしたが、そんな不安な気持ちは出迎えてくれた東ハワイキワニスクラブの皆さんのおかげでなくなっていました。気軽に話しかけてきてくれたり、僕のたどたどしい英語を一生懸命理解しようとしてくれたりと、不安だった僕にとってとてもありがたかったです。ホームステイ先の家でも色々な所に連れて行ってもらい、ハワイの郷土料理を食べさせてもらったりとても楽しかったです。

このホームステイで、日本では体験できないことをたくさんすることができました。一番印象に残っているのは、マウナケアという富士山より高い山の頂上にまで登ったことです。頂上は、360度星空でとても感動しました。他にもハワイの綺麗な海で泳いだこと、火山に登ったことを思い出すだけでも笑顔になります。一番良かったことはたくさんのハワイでの友達を作ることができたことです。このプログラムに参加していたから、みんなと知り合うことが出来ました。この友好関係は絶対無くすことなくずっと連絡を取り合いたいです。

またハワイ島に行き、仲良くなったみんなに会いに行きたいと思います。

初めての海外でとても緊張しましたがハワイの人の温かさを感じ、楽しく過ごすことができました。将来はハワイに住んでみたいと思いました。

わかさき えめ 川崎 愛女

今まで過ごしてきたどの一週間よりも、毎日が新鮮で充実したものでした。家族と離れたことでいつも何気なくある家族の大切さや感謝に気付くことも出来ました。

よこやま 横山 みなみ

ハワイの人はとても親しみやすく、気軽に話すことができました。楽しい思い出がたくさん出来、とても短く感じた一週間でした。

あかだ りきや 岡田 力也

ホームステイを通し、どんな相手であろうと積極的に話しかけていくこと、自分のことは自分です、



という事を学びました。

ほりかわ あかり 堀川 朱理

なにもかもが新鮮でドキドキ・ワクワクの一週間でした。とても短かったけど、中身の濃い時間を過ごすことができました。

ほんま まなみ 本間 眞珠

ハワイはすべてが新鮮で驚きの連続でした。高校生でこのような経験ができた私はとても幸せだと感じました。一生忘れられない良い思い出になりました。

おちあい みづき 落合 美月



ハワイの人はみんな親切で優しくかったです。参加したことで、英語が今まで以上に好きになりました。この経験が無駄にならないよう活かしていきたいです。

おおにし なおき 大西 直輝

目標であった英語能力の向上を感じられ非常に嬉しく思っています。洲本市と親に感謝し、この経験を今後活かしていこうと思います。

いだしき 井谷 寿希

英語が上手く話せなくても理解しようとしてくれ、自分から伝えようとするのが大切であると学びました。又たくさんの友達を作ることができました。将来再びハワイに戻ることを誓います。

にしむら 西村 まゆ



Welcome! to Sumoto



今年も昨年に引き続き、ハワイ島ヒロから訪問団が来てくれました。今回は9月30日(金)から10月4日(火)の4泊5日間の日程でキワニスクラブの7名とヒロ高校キークラブの13名が来訪しました。7月のハワイ訪問以来の再会や、新たな出会い、イベント盛りだくさんの受け入れ内容をお届けします。

10日

再会、そして…ドキドキの対面式

9月30日(金)夕方、ハワイ島ヒロ訪問団の関西国際空港到着を琴井谷会長、嵯峨顧問らが出迎え、久々の再会を喜びました。その後、一行はバスで一路洲本市へ。市役所に到着後、すぐに学生たちとホストファミリーとの対面式が行われました。あわただしい中、久しぶりの再会に喜び抱き合う人、初めての出会いに緊張する人、さまざまなシーンがありました。そして



長旅の疲れを気遣い早々に会場を後にし、それぞれの滞在先へ向かいました。

20日

島内観光と歓迎レセプション

この日は、協会員やホストファミリー、夏にハワイを訪問した高校生らとともに、北淡震災記念館見学、吹き戻しやマイ線香づくり、うどん作りの体験をしました。夜にはウェルネスパーク五色で、ホームステイ



ファミリーや多くの協会員が合流し、歓迎レセプションが開かれ、ハワイの歌の披露や餅つき大会で、大いに盛り上がりました。

3日目は、生徒達はそれぞれのホストファミリーと過ごす一日でした。

一方大人たちは、キワニスクラブメンバーと協会員（雨堤徹副会長、久米みどりさん）で徳島観光へ。



洲本市の姉妹都市である美馬市（脇町）の『うだつの町並み』見学では、ボランティアガイド

さんが英語で町並みの歴史などを説明。興味深く耳を傾けていました。また、藍住町の藍の館では、藍染めのハンカチ作りも体験。15分ほどで仕上がるきれいなハンカチに満足していました。その後一行は阿波踊り会館へ向かい、本場の阿波踊りを楽しみました。



ハワイ高校生にとってはハイライトだった学校訪問。はじめに生徒会主催の交流会が開かれました。

続いて参加した2年生の体育では、Ms. Shirakawaさんの生演奏と指導、ハワイ高校生の実技指導によるフラの特別授業に、大いに盛り上がった授業となりました。また、ハワイ高校生は、書道や美術（書画）、英語、情報の授業などにも参加。互いに写真をとったり、メールの交換をしたりと楽しい学校訪問になりました。



昼間の高校訪問を終え、フェアウェルパーティーが夕方、御食国で行われました。通訳には、2年前にハワイのホームステイに参加した中村海人くんが駆けつけてくれました。

お別れ会では、滞在中の写真をスライド上映や、ホームステイ受入学生によるハワイの学生たちの紹介がありました。またハワイの学生も感謝の気持ちを日本語でスピーチ。そして、恒例のハワイの学生たちによるフラダンスや市役所職員の粋々連による阿波踊りも披露され、一緒に踊り、大いに盛り上がりました。

会の終了後、名残りを惜しむように記念撮影が行われ、最後の夜を楽しみました。



事務局紹介

12月より洲本市国際交流協会の事務局の一員となりました太田知佳と申します。

皆様が楽しく国際交流していただけるようお手伝いさせていただきます。どうぞ宜しくお願いいたします。



Homestay In Sumoto

ホストファミリーを体験して

角倉 弘子

高校入学時からホームステイに興味があった長男。でも、いつも日程が合わず、やむなく「ホストファミリーだけでも！」との声にこたえての受け入れでした。

そして、やってきました中3、高2の男子たち。2人とも日系ということもあり、日本語も少し使えるし、私のあやしい英語も理解しようががんばってくれました。

ありがたかったことは、到着翌日に、子どもたちとハワイのお世話の方々を、バスツアーで回ってくれたこと。また、とても盛大な歓迎会やフェアウェルパーティーと、ホストファミリーへの負担を極力少なくした配慮があったことです。夜の歓迎会も、地元の私たちも見たことのない高田屋太鼓の演奏や懐かしい杵と臼でのもちつきなど、私たちも淡路再発見ができました。

翌日は、お楽しみホストファミリーで過ごす一日。意外にもお寺や神社に興味があり、七福神のお寺と神社、そして、瓦粘土でコースターづくり、最後にはスポーツ



ドームで遊びました。

印象深かったことは、初めに行った神社で、狛犬に

とても興味を示していたので「口の開いているのが、『あ』で始まりを意味する。閉じているのが『ん』で終わりの意味。だから、口の開いているほうからおまいりするんだよ。神様を守っているんよ」と説明すると、熱心に写真を撮っていました。



一転して、瓦粘土を使ったコースターづくりでは、黙々と取り組み、デザインはハワイらしい波など素敵なものを作っていました。

最後のフェアウェルパーティーは家族全員で参加し、最後のひとときをにぎやかに楽しめました。何よりも嬉しかったのが、そこで別れるのではなく、最後の夜を我が家で過ごせたこと。今回は、次男も積極的に会話に加わり得意のチェスを一緒にしたりと満喫していました。

翌朝、見送りに行ったときも、寂しくはあったけれど写真を撮ったり、ハグしたり明るく見送ることができました。

子どもたちは今もフェイスブックで交流し、再会の約束をしています。

親として多くのことを学び、また

とても楽しい体験となりました。お世話になった洲本市国際交流協会の皆様、機会をくださった皆様、本当に心から感謝しています。マハロ!!



A=visit-to=Sumoto student's comment

今回ホームステイを経験したハワイ学生の感想を紹介します。

JAYMIE MASUDA

旅の間、私は本間ファミリーの家にお世話になりました。皆さんはとても歓迎してくれました。マナミ・チサト・イツミ、その友人アヤメ、お父さん・お母さん、そしておじいちゃん・おばあちゃんと大家族でした。



特に印象的だったのは、日曜日にホストファミリーで過ごしたことです。皆で近所に散歩に行き、お父さんとくつつき虫という植物をくっつけ合って遊び、とても面白かったです。夕食には、たこ焼きと巻き寿司を作って食べ、食後にはお琴や三味線を演奏しました。まるで本当の家族かのように接してくれ、時間があっという間に過ぎていきました。もっと一緒にいたいと思いました。

KIAN KUROKAWA



日本へは三年前に来たことがあります。淡路島は初めてです。もう一度日本に来たいと思い今回のホームステイ参加を決めました。

日本は海、山、町がとても美しく洲本高校訪問もとても楽しかったです。

KOHOLALI'I M MAERTENS

私は日本の文化、町、言葉が好きです。日本へ来たのはもっと日本の言葉について学びたいと思ったからです。

景色は美しく、人はとても良くフレンドリーでした。又来たいです。



DARIAN TAKASE

私は本間ファミリーと沢山の思い出を作ることが出来ました。その一つに、部屋で8本足の生き物を見たことです。それは明らかに蜘蛛でした。私は叫んで逃げましたが、マナミ達は「落ち着いて!」となだめてくれ、

お父さんが蜘蛛をたおしてくれました。

過ごした日にちは短かったけど、私のことを本当の家族のように接してくれ、私も自分の家族のように感じました。できることなら、もっと一緒にいたかったです、別れるのがすごく寂しかったです。



Foreign language lecture open a course

毎年恒例となっています外国語講座。今年は韓国語講座を新たに加え、英会話3クラス・中国語1クラスの計5クラス。韓流ブームをうけ大好評の韓国語講座、リピーターの多い英会話講座、アットホームな雰囲気中国語講座となりました。

閉講式ではクラスの個性が表現された素晴らしいパフォーマンスが披露され、今年も好評のうちに外国語講座が終了しました。



さて、今回英語中級の講師をつとめてくれた Veronica Chung先生の感想です！
英語での感想ですが、皆さんLet's try!

Adult English Class

Last year, it was my first time to teach an intermediate Adult English class. It was very fun. We covered many topics. Some of our topics were Japanese and American traditions and etiquettes, current events, traveling recommendations and favorite places, and popular culture. The most interesting class we had was a potluck party where we each brought an item to share with the class and we explained it. We had homemade Chakinshibori, Takikomi gohan, American chocolate chip cookies and a variety of Japanese favorite snacks.



Another fun class was our Halloween party where we shared candy and read a scary story. This is about the time we started working on pronunciation, which gave us a good laugh. Towards the last few classes, we became even more comfortable with each other and were able to have more casual conversations.

A difficult challenge was that my class was intermediate, but it ranged from all levels of experience with English. I made sure we went around the room and everyone had a chance to speak about the topic. Sometimes we played a

game to make it more fun. The class really enjoyed a game where we told each other two truths and one lie. We had to guess the lie. Another difficult challenge was teaching adults for the first time.

I was nervous during the first few classes, but eventually I found what the class did or didn't enjoy.

I enjoyed teaching this class very much. It is very different from the classes that I teach in school because we get to make the agenda. From the very beginning I asked my students the topics they were interested in and how they learned best. It was also an experience that allowed me to get to learn about Japanese culture from adults versus young students. We built strong relationships that allowed us to be friends and meet occasionally after the class was over. I am very excited to teach next year!

洲本市国際交流協会新規会員募集中♪

洲本市に居ながら
楽しく国際交流して
みませんか？気軽に
外国文化を深められ



る行事を開催しています。すでに会員の方も
お友達をお誘い合わせのうえ是非ご参加くだ
さい。皆さんの入会をお待ちしています♪

申込・問い合わせ

洲本市国際交流協会事務局（洲本市役所秘書課）

TEL:0799-26-0175 FAX:0799-23-2340

中国語講座を終えて

渡邊 佳則

第1回講座は、幹田顧敏先生と受講生の自己紹介から始まりました。中国旅行経験のある方、大学で中国語を選択していた方など語学の堪能な方が多く、先行き不安な心理状況でした。

「必ず話せる中国語入門」の本に沿った声調・6つの基本母音・複母音・子音などの発音、なかでも口の開け方、舌の位置などの発声過程は苦勞しましたが、いまだに流暢な発音はできません。

また、アットホームな雰囲気であったため、楽しく幹田先生による中国の歴史、文化、人々の生活様式などを学び、中国語は勉強すればするほど奥深い言語であると感じています。

次回講座に向け、自宅ではCDを聴きながら発音、話ぶりの習得に閉講式のおり受講生で歌ったスマップの「世界上唯一の花」の中国語歌詞を練習しました。歌詞のうち「僕らはみんなたった一人のONLY ONE」の気持ちをキープしながら、更なる中国語習得にチャレンジする考えです。

そして3泊4日の日程で、孫たちが住む北京へ旅行をしました。入国手続き、荷物の受取、地下鉄、街中の看板など、多くの簡体字を拝見し、右側通行のルール（歩行者の横断方法など）を体験しました。

天安門広場、頤和園、雑技並びに上海ガニ、北京ダックの料理など日常生活を忘れリフレッシュできた楽しい正月でした。

受講生による忘年会は、幹田先生への感謝の言葉、中国語勉学のツボ、旅行の魅力など交流を深める有意義な一時となりました。

最後に、10回にわたる講座準備等に多大なご尽力をいただきました関係者の方々に心より感謝申し上げますとともに、国際交流協会のますますのご発展を祈念いたします。



韓国語講座を受講して

尾田恵利子

友達と来年あたり韓国に旅行しようと話をしていたところ、タイミング良く韓国語講座の受講募集があり応募しました。

授業では、習慣、文化、日本人との感受性や表現力の違い、買い物の交渉の仕方、韓国の方なら誰もが知っているクマさんの歌など、韓国語以外の事もたくさん教えてくださいました。

受講者の多くが韓国に何度も旅行されていたり、好きなタレントさんがいたり、何の知識もなく参加した私は最初何を聞いてもちんぷんかんぷん。

淡路では教室がない為、K-POPを聴いたりドラマを見たりして勉強しているとのことで、私も初めてドラマを見てみたのですが覚えた言葉が聞き取れた時はうれしかったです。

教室全体が和やかな雰囲気、みんなで歌を歌ったり、笑い声の絶えない時間がとても心地よく、何より先生の人柄がすごく良かったので教室に行くのが毎回楽しみでした。

最終日には先生が結婚式でまとった民族衣装(チマチョゴリ)まで着させていただき、最後まで楽しく受講でき、終了してしまったのがほんとに残念で寂しいです。この感覚を忘れないうちにもっと知識をつけ、旅行にも早く行きたいと思っています。また、機会があれば是非参加したいです。



韓国料理&イタリア料理教室

2月25日(土)に健康福祉館にて韓国語講座の講師の藪田夕奈先生と、英会話のベロニカ先生をお迎えして、料理教室が行われました。

藪田先生による料理説明では、先生が韓国の食器を持参して、韓国の食文化の説明や、日常でよく使う韓国語を教えてくださいました。

ベロニカ先生は、この日の為に日本語での自己紹介を練習し、料理説明も日本語でチャレンジされ、とても緊張した面持ちでしたが来日1年の日本語とは思えない流暢な説明でした。

一番のお楽しみ、食事の時間は美味しい本格的な料理と、楽しい話で盛り上がりました。

中でも注目を集めたのが、ブカティーニという穴あきパスタ。もちもちとした面白いパスタでした。

又、韓国料理では先生お手製のチヂミのタレが絶品。にんにくを大量に食べて元気になった1日でした。



いよいよ料理スタート！韓国料理はチヂミ班・ブルコギ班、イタリア料理はパスタ班・サラダとガーリックトースト班の4班に別れ和気あいあいとした雰囲気調理がすすめられました。

知って嬉しい 韓国料理



藪田先生より日本文化にはない韓国の食事のマナーを教えてくださいました。

日本ではお茶碗を手に持って食べることがマナーとなっていますが、韓国では全くの逆でお茶碗を持って食べることは行儀が悪いと解釈されるそうです。

韓国へ旅行の際は是非気を付けて召し上がってくださいね♪

知って楽しい イタリア料理



ベロニカ先生が急にパスタを天井に投げました!!みんな、え??と首をかしげていましたが落ちてきたパスタを受け、先生はとっても笑顔。どうやら投げたパスタが暫く天井についていたら、茹で具合が丁度いいという風習がイタリアにはあるそうです。

日本の家庭ではなかなか見かけない光景ではありますが、豆知識として知っておくとちょっと得した気分になりますよね。



Recipe

当日作ったレシピを
2品ご紹介します♪

プルコギ 불고기



材料 (4人前)

牛肉……………300g にんにく……………大さじ1
 砂糖……………大さじ2 ごま油・ごま…各小さじ1
 醤油……………大さじ2 こしょう……………少々
 酒……………大さじ2 生椎茸・たまねぎ…お好みで

作り方 안드레법

- 1 調味料を全部まぜて、牛肉を1時間ほど漬けておく。
- 2 しんなりするまで野菜を炒める。
- 3 2の中に1を加え、中火でじっくり焼く。そうすることで汁が出てきてお肉もふんわり柔らかくなります。

カプレーゼ Caprese Salad

材料 (4人前)

大きめのトマト……………3個
 モッツアレラチーズ…適量
 フレッシュバジル……………適量
 エキストラバージンオリーブオイル
 塩・胡椒……………適量



作り方 Recipe

- 1 モッツアレラチーズとトマトを厚くスライスして交互に重ね、その間にバジルを挟みます。
- 2 オリーブオイルを適量かけ、最後に塩と胡椒で味付けする。



ペロニカ・チャン先生 藪田夕奈先生

お得な海外旅行を★

2月25日(土)午後からは、健康福祉館にて、基礎知識講座として、副会長の雨堤徹さんによる講演会が行われました。

「ガイドブックでは教えてくれない地球の歩き方～快適で安価な国内・海外旅行～」と題し、これまでの豊富な海外訪問で



雨堤徹副会長

得たお得で楽しく旅行する方法を詳しくお話しいただきました。

特に興味深いお話の一つに、アメリカでは州によってコインのデザインが違うということで、雨堤さんが収集した各州のコインをスクラップした本を見せていただきました。

雨堤さんは国内の全都道府県へ訪問し、海外は20カ国以上を訪問されています。お話の中で沢山の写真もを見せていただき海外への興味が益々湧きあがりました。



コインのスクラップノートを持ってパチリ★

参加者はお茶と美味しいケーキをいただきながらの講座で、有意義な時間となりました。

参加者の皆さんからは、『時間があっという間に過ぎ楽しかったです。興味深くもっとゆっくり、じっくり聞きたかった、又参加したいです。』との声をいただきました。

午前中に行なわれた事業と合わせて、海外の文化を多方面から感じられた一日となりました。



Привет всем Сумото

(ロシア語)

洲本のみなさんこんにちは

姉妹都市ロシア連邦サンクトペテルブルグ市クロンシュタット区の青年訪問団と料理作りと交流会

7月16日(出)、日露青年交流センターと洲本市が姉妹都市交流10周年を記念して招いたクロンシュタット青年訪問団と料理教室&交流会を開催しました。

これは、研修部会の外国文化理解事業として開催されたもので、協会員と翌週からハワイ島親善訪問ホームステイ事業に参加する10人の高校生が、クロンシュタット区訪問団の青年達と交流しました。



料理のメニューは、訪問団の青年たちと高校生らが、巻き寿司、サンドウィッチ、焼きそばを。大人の

訪問団員と協会員は、ロシア料理、ブリンチキ（ロシア風パンケーキ）を作りました。



巻き寿司はご飯や具があふれたり、のりが水分で

ベトベトになったりと、最初は少し苦戦のようでしたが、他のメニューと共にとってもおいしくできあがりました。

互いの意思疎通は、英語で行われましたが、最後は、手振り、身振りも交えてコミュニケーションを図り、料理教室は無事成功。その後開催された、交流会では、皆で作っ

た料理をおいしくいいただきながら、ロシア民謡のダンスの披露、阿波踊りの披露も行われ、大変有意義な交流会となりました。



クロンシュタットのみなさんの感想 (日露青年交流センターアンケートより抜粋)

- ❖ 皆さんのおもてなし、善良さ、明るさに感動しています。最も明るい印象として残っているのは、洲本での若者達との交流会です。とても思いやりのある、温かい会でした。(チュバコヴァ氏)
- ❖ 青年交流はとても役に立ち、そして必要なものです。若者達はそのおかげで他の国、つまり日本の文化を知り、それに浸り、新しい友人を作ることができるからです。(プレスニャコヴァ氏)
- ❖ すべてとても気に入りました。日本を愛しています。(アンフィモヴァ氏)



会員交流部会 年間報告

平成23年度はSIA会員交流会を4回開催しました。

5月、第1回の会員交流会を総会後に開催しました。

アトラクションはビンゴゲーム。数百円の淡路特産野菜から欲しいけどなかなか手が出ないウン万円!!の高価家電品まで!!出席された全員にもれなく賞品が当たり楽しんでいただきました😊



8月の第2回会員交流会では、ハワイ島親善訪問団報告会として、現地で撮影した画像を映しながらホームステイ生徒に体験を発表していただきました。

ハワイやホームステイをより身近に感じられ、有意義な時間となりました。

10月の会員交流会は、ハワイ島からの訪問団の洲本市訪問最終日のFareWellパーティーとして行われました。例年、会長・市長の挨拶は通訳を介して英訳していますが、今回はPower Pointを使い時間短縮を図りました。また、滞在中に見学、体験したことをスライドショーで上映し、同行出来なかったホストファミリーやSIAメンバーにも見てもらうことが出来ました。

パーティー後半には、ハワイの高校生による日本語での一言を含めたスピーチが披露され、フラダンス・阿波踊りの演目で賑やかなひとときを過ごすことが出来ました。



12月の交流会は、テーブル対抗で国際クイズに挑戦しました。部会メンバーはクリスマス前ということでサンタクロースの衣装でクイズの出題・運営を担当。難問もあり、面白い!?解答が続出の楽しいイベントになりました。

また、今回も賞品が豪華!!季節の家電品から、クリスマスにちなんでケーキやワイン等を用意し、目がギラギラ☆の闘志剥き出しの中、『早押しアンサー』という小道具を使ってクイズを競い合い、大いに盛り上がり懇親を深めました。



来年度も工夫を凝らして、気軽に参加できる楽しい会員交流会を企画していきますので皆様の参加をお待ちしています。



会員交流部会長
原 一雅



平成23年度 洲本市国際交流協会総会

平成23年度の当協会の総会が5月28日(土)に市内のホテルで開催され、琴井谷会長の挨拶に続いて5議案が提出され、すべての案件が原案のとおり承認されました。

今年度は、洲本市からハワイ島ヒロへのホームステイ派遣、またハワイ島からの訪問団受け入れ、ロシアクロンシュタット区の青年訪問団との交流をはじめ、外国文化や風習を学ぶイベントの企画など様々な事業が展開されました。

2011. 4 ~ 2012. 3 The annual

APRIL・4 1年のstart

MAY・5 ★5月28日 第1回会員交流会

JUNE・6 ★6月11日 ハワイ親善訪問参加者説明会が開始

JULY・7 ★7月16日 外国文化理解事業でロシア・クロンシュタット区青年訪問団と料理教室&交流会

★7月21日~7月27日 待ちに待ったハワイ島親善訪問出発

AUGUST・8 ★8月19日 第2回会員交流会(ハワイ訪問団報告会)

SEPTEMBER・9 ★9月8日~12月1日 外国語講座スタート♪

★9月30日~10月4日 ハワイ島から訪問団来市

OCTOBER・10 ★10月3日 ハワイの皆とFarewell Party

NOVEMBER・11 ★外国語講座いよいよ終盤に突入

DECEMBER・12 ★12月1日 外国語講座閉校式&懇談会

★12月9日 第4回会員交流会

JANUARY・1 ★新年明けましておめでとうございます🎉

FEBRUARY・2 ★2月25日 外国文化理解事業で

韓国料理&イタリア料理教室♪

★2月25日 基礎知識講座で講演会

MARCH・3 ★3月25日 会報誌SIAの発刊📖

企画部会より

ホームページを全面リニューアルしました!

今年度、当協会のホームページは写真を多く取り入れ見やすい構成に一新しました。

年間スケジュール、姉妹都市、広報誌SIAのバックナンバーなどお役に立つ情報もご覧いただけます。順次更新していきますので、ぜひご活用ください。

<http://www.awaji-is.or.jp/sia-op/>

編集後記

多くの方々にご協力を頂き無事発行できますことに感謝申し上げます。振り返ると今年度も盛り沢山の事業がありました。参加してみると楽しかったり勉強になったり新たな交流が生まれたりするものです。この会員広報誌が、皆様に来年度の事業にもお気軽に出席して頂くきっかけになれば幸いです。



企画部会長
出口 雅也

